

第1学年〇組 道徳科学習指導案

在籍児童数 男子〇〇名 女子〇〇名 計〇〇名
場 所 1年〇組 教室

- 1 主題名 みんなと たのしく 内容項目 [C 公正、公平、社会正義]
- 2 ねらい 自分の好き嫌いにとらわれずによく考えて行動することのよさに気付き、誰に対しても公正、公平に接しようとする心情を育てる。
教材名 「じゃんけんぼん」 (出典：「みんなの道徳」学研)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

指導内容は、民主主義社会の基本である社会正義の実現のため、公正、公平に誰にでも分け隔てなく振る舞うことに関するものである。自己を中心に考える傾向が強い低学年の段階では、異なる考え方や感じ方を自分の好みの利害によって排除せず、誰に対しても公正、公平に接することのよさを実感できるように指導することが重要である。集団や社会において、また、いじめに繋がる素因をもたないようにするためにも、私心にとらわれることなく、偏ったものの見方や考え方を避けるように、公正、公平に接することが大切である。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

初めて道徳科の授業を学習する1年生に、道徳科の授業は「心の勉強」であることを伝え、1時間1時間真剣に自分の心や友達の意見と向き合う時間としてきた。児童は、道徳科の授業を楽しみにしていて、手を挙げての発言や友達と意見交流を感染予防対策に留意しながら、積極的に行ってきた。

1年生の発達的な特質から自己中心的な考えをしがちであるため、自分の好き嫌いや利害によって公平さを欠く言動をとる姿が見受けられる。一方では、自己中心的ではない考えを発言できる児童も数名いる。また、学級でお互いを認め合おうという指導を日常から行い、児童に公正、公平な態度に関して、具体的な言動を取り上げて考えさせ、担任がその場で褒めるようにしている。そうしていく中で互いの違いを理解し、それを認め、助け合おう、みんなで協力し合おうという雰囲気徐徐に学級内に育ってきている。児童が様々な条件・状況の中でも、本時のねらいである公正、公平、社会正義をしっかりと理解し、自分なりの納得解が得られるように、児童の発言に授業者が切り返したり、友達の意見と向き合わせたりすることで、一人一人の考えを深めさせたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、ドッジボールのチームを決めるじゃんけんをするが、主人公は大好きな友達と同じチームになれず、ドッジボールに参加しなかった。そして、気にかけて声をかけてくれた友達に、自己中心的な発言をしてしまう。その主人公のように偏った見方をしてしまうことがあることを理解し、人間的な弱さについて(人間理解)の共感まで児童がたどりつけるよう意識して授業を組み立てた。公正、公平を欠く言動が、人の気持ちを傷つけてしまうことに気付かせることを通して、好き嫌いにとらわれないで接することの大切さを学ばせることができる教材である。また、ねらいとする道徳的価値に迫るために体験的な学習指導方法を効果的に活用したい。

以上の理由から、本主題を設定した。

4 学習指導過程

段階	学習活動 ・ 主な発問	予想される児童の発言	指導上の留意点 ☆評価の視点
導 入	1 じゃんけんの意義を考え、教材への関心を高める。 ・じゃんけんは、どんな時に行いますか。	・鬼ごっこで鬼を決めるとき。 ・順番を決めるとき。 ・一人だけを選ぶとき。	・普段何気なくじゃんけんをしているが、その意義を確認し、「公正、公平」を1年生の言葉で置き換えて課題とし、ねらいとする道徳的価値への関心をもたせる。
	だれにでも（こうせい、こうへい）に せつするには、どうしたらいいか かんがえよう。		
展 開	2 教材を読み、話し合う。 ・チームを決める時、どんな気持ちでいるでしょうか。 ・やすしさんと違うチームになったときの主人公は、どんな気持ちでしょうか。 ・校庭の隅に座って見ていた時、どんな気持ちでいるでしょうか。 ・みのりさんが誘いに来てくれたのに、強く言い返してしまった後、下を向きながらどんな気持ちでいるでしょうか。	・やすしさんと同じチームになりたい。 ・わくわく、どきどきする。 ・とても悲しい。 ・どうして、なんでだよ。 ・とても嫌な気持ち。 ・やりたくない。 ・つまらない。 ・やすしさんと同じチームがよかった。 ・みんなどうして分かってくれないの。 ・つい、言ってしまった。しかたない。 ・ひどいことを言ってしまった、ごめんなさい。 ・みんなにどう思われるかな。	・教材の内容を理解しやすいように、登場人物、場面の状況を確認する。 ・やすしさんのことが大好きで他の友達が嫌いな訳でないことを確認する。 ・いろいろな意見を出し、他者理解につなげる。 ・隣同士で意見交流をさせる。 ☆主人公の自己中心的な考えから他者理解をし、さらに人間理解まで視点を広げている。 (発言、観察) ・役割演技の視点を明確にして演技をすることで、実感をもたせて考えさせる。 ・ワークシートに記入し、自信をもって友達と意見交流をさせる。
	3 自己を見つめる。 ・友達と仲良く遊ぶために、あなたはこれからどうしますか。	・自分の気持ちだけでなく、みんなのことを考えて行動する。 ・だれにでも同じように接する。	☆友達との関わりの中で、これからの自分の考えを深めている。 (発言、ワークシート)

終末	4 学習を振り返る。 ・振り返りを書きましょう。	・じっくり振り返り、考えながら、ねらいとする道徳的価値を深める。
----	-----------------------------	----------------------------------

新型コロナウイルス感染予防対策で距離を取りながら意見交流

